

## 第5回 研究倫理審査委員会議事録

日時： 8月6日（水）午後4時00分～午後5時30分

会場： 3号館2階 カンファレンスルーム

出席者： 渡邊和子、岸貴介、田中英子、西村知晃、太田進、中島英司、室敬之、大浦智子、  
安倍基幸（OB）、

欠席者： 鈴木智恵（教務委員会出席のため）

審議途中退席者： 室敬之、安倍基幸（OB）（協議会出席のため）、大浦智子（大学院講義のため）

### 審議事項

#### 1. 申請書審議1件：

相本啓太（院生）『変形性膝関節症者の早期発見のための膝関節振動データの収集方法確立と変形性膝関節症者の特徴抽出』

審議結果：一部修正を求め承認する。

#### 2. 承認する最長研究期間について

研究申請書の延長期間に期限を設けるか否かについて、昨年度も議題にあがり、申請期間の延長と延長は原則2回までとしていたが、現実には6年を超える申請もあることから、他大学の情報等を調査し再検討することとした。

#### 3. 学部学生（卒業研究）の研究倫理審査時期について

プレ実験に学外研究協力者を依頼するケースがあることから申請時期を早めてほしいという意見を受け、1月、3月、7月末、8月末での申請を受け、提出先を学習支援課とすることとした。委員長より、教育上の観点からすべての卒業研究課題の申請書の提出が行われているかのチェックは各専攻ごとに調査してほしいとの依頼があった。

### 報告事項

#### 1. 許可証発行報告 前回審議分2件、迅速審査1件

#### 2. 審議中迅速審査2件（継続）

富山直輝：『地域在住高齢者に対する介護予防の方法に関する研究』

藤田高史：『東海市介護予防教室（二次予防）終了者への健康維持に有効なフォローアップ体制作りのための調査研究』

#### 3. 研究終了報告書受領（3件）

◇藤田高史：

世代間交流レクリエーションと体力向上エクササイズによる認知症と抑うつ予防効果について

◇太田 進：

高齢者における全身の姿勢と呼吸機能との関連

◇飯塚照史

DASH (Disabilities of the Arm, Shoulder and Hand) の Minimally Important Difference を指標とした橈骨遠位端骨折後のリハビリテーション効果に関する検討；術後2週間固定群と早期運動治療群の特徴

◇大浦智子：

客観的臨床能力評価 (Objective Structured Clinical Examination :OSCE) に伴う学習機会の頻度と評価用紙の信頼性・妥当性の検証

3. その他

田中委員、西村委員より、経営学部においても近年研究倫理審査申請書の提出が必要な研究が増えていることから、経営学部教員にもその必要性を周知徹底させる必要があるようだとの意見があった。この意見を受けて、委員会では研究倫理指針を作成することとした。

次回委員会

9月3日 17:00～ 3号館2階カンファレンス室

以上